



BE the ONE News

“かけがえのない存在”たれ!

BE the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
https://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

バドミントンの2019年度関西学生秋季リーグは2019年9月に行われ、羽衣国際大は男女とも3部に参戦した。男子は5位、女子は2位となり、女子は2部との入替戦で大阪市大を破って昇格を決めた。2020年度の春季リーグは男子3部、女子2部で戦うことになる。

女子が2部へ復帰

男子は3部に残留

男子は3部1次リーグを1勝2敗で3位。下位リーグに回り、まず大阪市大と対戦した。どの試合も接戦だったが、粘り強くポイントを奪い、4-1で制した。続く大阪府大戦も緊迫した展開となった。ここでも

男子・粘り勝ちで残留

男子は3部1次リーグを1勝2敗で3位。下位リーグに回り、まず大阪市大と対戦した。どの試合も接戦だったが、粘り強くポイントを奪い、4-1で制した。続く大阪府大戦も緊迫した展開となった。ここでも



福原

シングルの岡村充(現代社会学科4年)が22、20、21、17と際どい試合をもち取るなど、個々が粘りを発



男女そろって昇格決定

アベック優勝

男子4部
女子3部

入替戦制し、男子3部・女子2部へ

バドミントンの大阪学生選手権(団体の部)は2019年12月7日と14日に行われ、羽衣国際大の男子は4部優勝、女子は3部優勝を果たしました。上部昇格を目指して挑んだ入替戦もそれぞれ勝利し、昇格を決めました。

今季は競り合いを落とすなど惜しい試合もありましたが、団体勝利ポイントをもぎ取り、連続で昇格できました。また、本大会は4年生も参加可能で、特に男子は前キャプテンの岡村充(現代社会学科4年)がしっかりとポイントを取って男子チームの勝利に貢献しました。

個人戦は2020年3月3～5日に行われます。

揮。3・2で大阪府大を下して2連勝して3部5位となり、残留を決めた。

女子・入替戦快勝で昇格

女子は1次リーグ黒星スタートだったものの、Aブロック2位で上位4校による順位決定リーグに進んだ。その初戦の近畿大戦は日野あかり(食物栄養学科2年)・南里綾乃(人間生活学科1年)ペアの1勝に抑えられた。



日野(右)・南里ペア

Aブロック1位の佛教大が神戸大に敗れたため、最終戦の勝ち方に順位がかかる大混戦となった。羽衣国際大は神戸大との接戦を4-1で勝利。佛教大が近畿大にも敗れたため、1勝2敗で3チームが並んだ。



向井

順位決定はマッチ率に持ち込まれた。得失マッチは羽衣国際大が7・8、佛教大が6・9、神戸大が5・10で、その結果、羽衣国際大が3部2位を確保した。マッチをあと1つでも落とせば順位が変わった可能性もあり、団体リーグ戦であっても、個々の戦いの重みをあらためて実感することとなった。



知念

3部2位と2部7位大阪府大との入替戦は9月28日に滋賀県大津市皇子が丘公園体育館で行われた。羽衣国際大はシングルの日野あかり(食物栄養学科2年)・南里綾乃(人間生活学科1年)ペアの1勝に抑えられた。

野、向井沙織(現代社会学科1年)で連勝し、ダブルスの知念さつき・山内瑛未(ともに食物栄養学科3年)ペアも快勝。3・1で勝利をつかんだ。

来季の2部昇格を決め、2部から3部へ降格した春季リーグの雪辱を果たした。来季は2部8位から1次リーグを戦う。



エアロビクス・トレーニング

バドミントンクラブ・駅伝部合同で開催

【バドミントンクラブ メンバー】

- 男子
岡村充、北嶋遼平、福原怜司、松本多朗、谷龍則、血良凌我、竹内瑠希
- 女子
知念さつき、中村茉莉子、山内瑛未、日野あかり、南里綾乃、向井沙織

大会成績	関西学生秋季リーグ
男子3部	大阪大
羽衣国際大	神戸大
Aブロック	四天王寺大
順位決定リーグ	大阪府大
▽Aブロック	大阪府大
▽順位決定リーグ	大阪府大
▽2部・3部入替戦	大阪府大
▽大阪学生選手権(団体の部)	大阪府大
男子4部1位	桃山学院大
羽衣国際大	大阪国際大
男子3部4部入替戦	大阪芸術大
羽衣国際大	四天王寺大
女子3部1位	大阪府大
羽衣国際大	摂南大
女子2部3部入替戦	大阪府大
羽衣国際大	大阪国際大

2019年12月27日、エアロビクス指導の第一人者である広江美規子先生をお招きして、バドミントンクラブと女子駅伝部が合同で指導を受けました。2時間有酸素運動プラス体幹トレーニングや柔軟性のトレーニングを行い、身体の左右のバランスのとおり方に苦慮する学生もいましたが、自分の体に向き合う貴重な時間となりました。今後も定期的にトレーニングの一環としてエアロビクスを取り入れていきます。

近畿学生野球秋季Ⅱ部

春に見えた課題

敗戦を糧に



2次リーグの連敗が響く

近畿学生野球連盟秋季リーグ戦Ⅱ部を戦った硬式野球部。春季は6勝3敗で3位とⅡ部との入替戦が見える位置につけた。しかし秋季は3勝4敗2分と負け越し、4位にとどまった。

2019年もⅢ部優勝、Ⅱ部昇格を目標に掲げたが、春季・秋季とも達成することができなかった。

1次リーグは第3〜5戦を3連勝するなど、3勝1敗2分とまずまずの成績

勝てなかった事実と向き合い、行動を起こすこと

意識と行動を改革しよう

来季に向けて、まずは目標が達成できなかった事実と正面から向き合うこと、そして学業と野球に真剣に

だった。しかし2次リーグは3連敗。Ⅲ部上位浮上のきっかけを作れなかった。

前年度の4年生が引退してからの新チームの7カ月間の活動を振り返ると、学業や野球に取り組む消極的な姿勢が、活動と競技レベルに表れた結果といえる。

リーグ戦順位の推移

	(勝率)	(順位)
2017 秋Ⅲ部	3勝4敗1分 .429	4位
2018 春Ⅲ部	4勝4敗 .500	5位
2018 秋Ⅲ部	4勝5敗 .444	4位
2019 春Ⅲ部	6勝3敗 .677	3位
2019 秋Ⅲ部	3勝4敗2分 .429	4位

主将の卯月大和(3年)は「秋季リーグ戦も優勝の目標を達成することができず、取り組みの甘さを痛感しました。この悔しさを胸に冬季練習に臨み、春のリーグ戦では優勝、昇格の目標を達成したい」と決意を固くしている。厳しさに立ち向かい、乗り越えるチームに変貌できるか。春の成果を待ちたい。

大会成績

近畿学生野球連盟 2019年秋季リーグ

所属	順位
羽衣国際大	△5・5
神戸医療福祉大	●2・3
兵庫県立大	○7・3
奈良教育大	○9・0
大阪歯科大	○4・1
大阪薬科大	△2・1
奈良大	●1・6
兵庫県立大	●3・7
奈良教育大	●2・7
神戸医療福祉大	▽2回戦
羽衣国際大	●5・10
大阪工業大	

個人部門リーグ上位者

ベストナイン



外野手 橋本 壘 (初受賞) (1年:敦賀気比高校出身) 打率0.345(リーグ8位)

【評】秋季リーグ戦では8試合に出場して29打数10安打4打点3盗塁の活躍。打線では中軸を務め、気を吐く活躍を見せた。勝負強さと対応力の高さが魅力である。



主将 卯月 大和 (3年/鳥取城北高校出身)

「敗戦を通じて普段の練習や基本練習の重要性を改めて感じるようになりました。また、日常生活と大学生活を見直し、人として成長することが競技力を高め、リーグ戦の結果につながると思います。大学をはじめ、いつも応援をしてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに日々の活動に取り組みでいきたいと思えます。」



主務 辻瀬 崇博 (3年/南部龍神高校出身)

「大学生として、また、競技者として一人ひとりが成長に貪欲にならないといけません。春には新入部員が加わり、チームは新たな課題に向けて出発します。切磋琢磨しながら目標達成に向けて心を入れたいと思います。自分たちが大学野球を続けられるのは、大学をはじめ、多くの方々から支援をいただいているおかげです。チーム全員が感謝の気持ちを持って成果が出来るように努めます。」



比嘉 一生 (1年:興国高校出身) 防御率0.53 (リーグ1位)

【評】秋季リーグ戦では野手として出場をしながら、投手としても4試合に登板した。低めに集める丁寧な投球が持ち味であり、防御率はⅢ部リーグ1位の0.53を記録。チームを救う活躍であった。

【談】「秋季リーグ戦でこのような成績を収めることができたのは、練習をはじめ、試合においても、チームメイトに支えていただいたおかげです。来春のリーグ戦では、投手だけではなく、野手としても活躍ができるように頑張りたいです。」

打撃部門 (打率20傑内)

- 第8位 打率0.345 橋本 壘 (外野手)
- 第16位 打率0.281 西崎 弘法 (外野手)

【評】秋季リーグ戦では1

2019年後期の主な活動

- ◆11月28日(木) FMいずみおおつ「羽衣ファンタスティックナイト」に生出演 <写真左から>
 - ・4年生マネージャー: 桑田 真琴
 - ・3年生主務: 辻瀬 崇博
 - ・2年生: 長田 真弥
 - ・2年生: 米地 大河
- ◆12月9日(月) 野球部ミーティング (竹之内雅史総監督)
- ◆12月12日(木) 野球部納会
- ◆12月14日(土) 新入生の入部説明会



硬式野球部の指導方針

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。目指すは、
●礼儀正しい大学野球部
●文武両道を目指す大学野球部
●高校より感動できる大学野球部
●皆から愛される大学野球部



伊丹 康治 (本学職員) 日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権を創ること

大会に出場(ともにベスト4)。和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

部長 合澤浩之 (現代社会学部教授) 早稲田大学出身
総監督 竹之内雅史 神奈川・鎌倉学園高校では、内野手として春の甲子園出場。日本

駅伝部 新体制始動



新たな気持ちで前進

2020年度の目標

岡奈津美

〔主将、食物栄養学科3年〕
「どの試合も悔いなく走ります。全日本大学女子駅伝出場を目標にチーム一丸となって練習に励みます」

池田亜由佳

〔副主将、人間生活学科 食クリエイトコース2年〕
「体調に留意しながら自己ベストを出せるように頑張ります。全日本大学女子駅伝出場を目指します」

久須優奈

〔主務、食物栄養学科2年〕
「自己ベストを更新し、駅伝などで貢献できるように練習に取り組みたいです」

古田美月

〔食物栄養学科2年〕
「2019年は飛躍のシーズンでした。来シーズンも練習をコツコツと継続し、結果につなげたいです」
今井花笑 (食物栄養学科1年)
「2019年は自分に甘い部分が多々ある一年でした。新たな気持ちで上を目指します」

関西学生ハーフで古田が4位入賞

2020大阪ハーフマラソン併催の第1回関西学生ハーフマラソン選手権大会(21・0975km)が2020年1月26日に行われ、古田美月(食物栄養学科2年)が自己ベストを大きく更新す



力走する古田

信太山クロカン 2部門制覇

陸上自衛隊信太山演習場で行われた第67回信太山クロスカントリー大会(2020年1月12日)の5kmの部で南野結芽(食物栄養学科4年)が優勝。10kmの部では1年生4名が1位〜4



10kmは羽衣国際大勢が表彰台を独占した。

位を独占した。長距離レースに慣れていない1年生だが、起伏のあるコースを難なく走り切った。優勝した

指して頑張ります」

小川愛夏 (食物栄養学科1年)

「2019年は納得できる記録を出せませんでした。春先から記録会に参加し、満足できる記録を目標に頑張りたい」

小川純奈 (食物栄養学科1年)

「大学で初めて3000m障害を走りました。春からのレースでタイムを出したい」

宮山碧唯 (食物栄養学科1年)

「昨年は自分の主としていた種目でベストが出ない悔しい一年でした。全日本大学女子駅伝出場に近づいたためベストを出したいです」

大阪市民駅伝で優勝

駅伝部は、大阪市・長居で行われた市長杯第72回大阪市民駅伝(2月11日)の女子の部(5区間16・475km)に出場。59分14秒で優勝を飾りました。

大会成績

- ◆2019関西学生陸上種目別選手権
 - ▽女子1500m ④岡4分47秒95
 - ▽女子4分51秒28 ⑧今井4分54秒07
 - ▽女子3000m 障害 ⑤久須12分53秒01 ⑦小川愛夏13分39秒99
 - ◆大阪陸協記録会
 - ▽女子3000m / 今井10分27秒92
 - ▽女子5000m / 古田17分18秒50
 - ◆京都陸協記録会
 - ▽女子5000m / 古田16分56秒60
 - (自己新記録、岡17分09秒34、宮山18分48秒86)
 - ◆京都産業大学記録会
 - ▽女子3000m / 今井10分27秒98
 - 久須10分39秒34、池田10分46秒88
 - ▽女子5000m / 古田16分56秒89
 - ◆大阪体育大学記録会
 - ▽女子3000m 障害 / 久須11分56秒74、小川愛夏13分18秒40
 - ◆信太山クロスカントリー大会
 - ▽5km ①南野20分41秒
 - ▽10km ①今井41分21秒 ②宮山41分35秒 ③小川愛夏45分22秒 ④小川純奈46分54秒

卒業おめでとう！ 南野さん大学院進学



南野結芽 食物栄養学科4年

「私は部活と勉強を両立するために本学に入学しました。先輩やコーチ、家族や学科の友達のおかげがあったおかげで、苦しいことにも負けずに頑張ることができました。卒業後は順天堂大学大学院に進学します。スポーツ栄養士を目指して、アスリートの栄養サポートなどに励みたいと思っています」

「私は部活と勉強を両立するために本学に入学しました。先輩やコーチ、家族や学科の友達のおかげがあったおかげで、苦しいことにも負けずに頑張ることができました。卒業後は順天堂大学大学院に進学します。スポーツ栄養士を目指して、アスリートの栄養サポートなどに励みたいと思っています」

アスリート

栄養管理

栄養管理は、部員は栄養士が考えています。写真は日々の献当です。



FIFA U20女子W杯優勝

日本学生支援機構 優秀学生顕彰優秀賞

北村菜々美 (人間生活学科2年) [セレッソ大阪堺レディース]

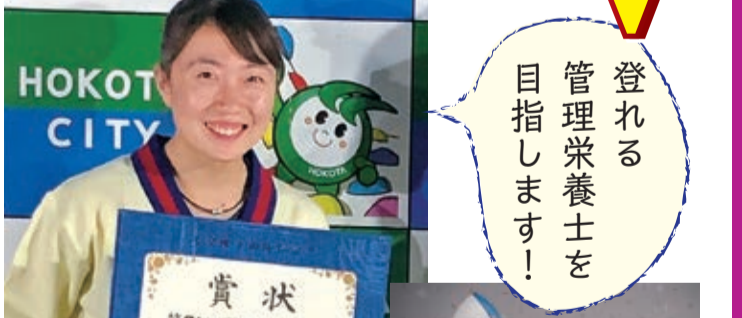


日本代表の歴史的快挙に貢献しました！

「私は20歳以下の日本代表として、2018年夏にフランスで開催されたFIFA U20 Woman's World Cupに出場し、優勝を果たしました。左サイドバックとしてほぼ全試合にスタメンフル出場しました。日本はU20W杯初優勝で、2011年になでしこジャパン、2014年にU17、2018年にU20と、3世代でW杯制覇という世界初の快挙を成し遂げました。今の目標は東京オリンピック、そして次のW杯に出場すること。日本代表として世界の舞台上で活躍する選手になりたいと思っています。もう一つ、インテリアデザイナーになるという夢があり、大学では主にインテリアデザインについて学んでいます。現状に満足せずもっと上を目指そうと自身に誓っています」

スポーツクライミング国体

森脇ほの佳 (食物栄養学科2年)



登れる管理栄養士を目指します！

「2019年の主な戦績
▽2019 リードワールドカップ・クラニニ戦 29位
▽茨城国体 スポーツクライミング 成年女子リード1位、ボルダリング8位
「週に3〜4日、堺市のリードジム(ナカガイクライミングジム深井店)、摂津市のボルダリングジム(同ジム摂津店)をメインに練習しています。小学5年の夏休みに初めてボルダリングをし、中学生から競技を始めた。将来は「登れる管理栄養士」を目指しています。夢が2つとも叶えられるように諦めずコツコツ頑張ります」

快拳 健闘 全国レベルで活躍中

最優秀投手賞

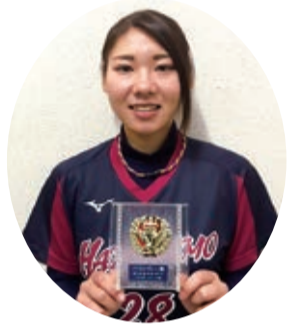


永田菜々

(食物1年・大阪信愛学院高出身)

「このような賞をいただき、とても嬉しいです。次も投手賞を獲れるように、また、チームの勝利に貢献できるように練習に励みます」

ベストプレー賞



村田彩莉

(スポーツ2年・京都共栄学園高出身)

「ベストプレー賞はとても嬉しいです。今後も日々の練習に励み、チームに貢献できるように頑張ります。来年も賞をとりたいです」

リーグ戦で活躍が光った2人が個人賞を受賞



Dreams are infinite!

～夢は無限大～

ソフトボール 2部 5位 残留 関西学生 秋季リーグ

来季1部昇格& インカレ出場に挑戦

1次リーグで残留決まる

2019年の春季リーグ戦は1点に泣く結果となり、この秋季リーグでは1点を大事にすることを目標に掲げて挑んだ。

初戦はリズムに乗ることが出来ず、ランナーを出しながらも残塁の山を築き、相手打線に効果的に加点され敗北した。

2部リーグは1次予選リーグの3試合の成績で2部残留及び3部降格が決定するため、2部に残留するために2戦目、3戦目に点差をつけて勝つことが絶対条件となった。

その中で挑んだ2戦目は、長打こそ出なかったものの、単打でつなぎ、3、1で白星をつかんだ。3戦目は10、0で4回コールド勝ち。狙い通り大量得点を挙げ、2部残留を決めた。

精神力・忍耐力を高めよう

2次部別リーグは1部から2部へ回ってきた同志社大、立命館大などと対戦した。勝負どころで力を発揮することが出来ず、黒星を重ねた。

最終戦は8回タイブレークの末に、1、0で辛勝。昨年度の秋季リーグ以来の2部残留となったが、目指していた結果を残すことはできなかった。

ソフトボール部の1期生である4年生も今春で卒業となる。少しずつ積み上げてきたものを受け継ぎ、この冬に精神力、忍耐力、人間力を成長させ、来年度の目標達成に挑んでほしい。

「美羽会賞」受賞

大学同窓会が活躍した各クラブの選手に贈る美羽会賞に、ソフトボール部からは永田菜々(食物1年)が選ばれました。 「美羽会賞に選んで頂き大変うれしく思います。来



秋季リーグ Album

新井

村田

堀井

藤田

目標に向かって努力!

顧問 数井 敏男

2020年3月末をもちまして、定年退職いたしました。創部以来5年間、顧問を務めさせていただきましたが、まだまだこれからという気持ちが残っており、寂しい気持ちでいっぱいです。皆さんの力になれたかどうか甚だ疑問ですが、私なりに精一杯やりましたのでお喜びます。

●：関西学生ソフトボール連盟50周年記念「ソフトボールフェス」(2019年7月14日・滋賀県草津市)に本学から加藤真悠里(放送2年・金光藤蔭高出身)が出場。関

年度もさらにレベルアップし、チームの勝利に貢献できるよう、練習に励んでいきます」



永田

大会成績

◆関西学生秋季リーグ戦(女子2部)	▽1次予選リーグ	▽2次部別リーグ	▽2部残留リーグ	▽1回戦	▽1回戦
羽衣国際大	0・7	0・3	0・1	0・0	0・8
大体大	0・7	0・3	0・1	0・0	0・8
大阪青山大	0・3	0・1	0・0	0・0	0・8
兵教大	0・1	0・0	0・0	0・0	0・8
同大	0・7	0・3	0・1	0・0	0・8
天理大	0・3	0・1	0・0	0・0	0・8
立命大	0・7	0・3	0・1	0・0	0・8
びわこ大	0・1	0・0	0・0	0・0	0・8
園田女大	0・8	0・3	0・1	0・0	0・8

【2部個人賞】
最優秀投手賞 永田菜々
ベストプレー賞 村田彩莉
◆関西学生新人戦
▽1回戦 0・8 園田女大



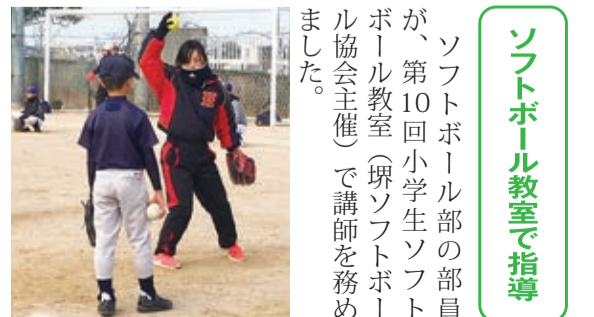
数井先生 ありがとうございます!

西学生選抜A・同B戦の後、チャレンジマッチとして日本リーグII部選抜・関西学生選抜が対戦。2、3で関西学生選抜が敗れたが、選抜チームに入らなかった学生も応援に駆け付け、盛り上げ、見せた。



SGホールディングスの選手から指導を受けました。

ソフトボール部は来シーズンの飛躍を期して、冬季合宿を敢行。恒例の和歌山合宿(2019年12月22日)に続き、日本リーグ1部のSGホールディングスの合宿(2020年1月16日)に参加しました。体力づくりのほか、SGホールディングスの選手からは技術指導も受け、選手たちは新シーズンに向けて意欲を高めていました。



ソフトボール教室で指導

ソフトボール部の部員が、第10回小学生ソフトボール教室(堺ソフトボール協会主催)で講師を務めました。